金城学院大学　シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講科目コード(Course code)	38160001
授業科目名(Course name)	世界と日本のクラシック		
担当者(Instructors)	加瀬 佳代子,浅井 邦昭,北原 ルミ,桐原 健真,楚輪 松人,中川 美和,龍澤 彩,朴 珣英,小室 尚子,鈴木 久嗣,森本 頼子		
開設学部学科(Department)	文学部　外国語コミュニケーション学科	科目分類番号(Course classification number)	252
開講クラス(Class)	（文）２	開講形態（Course format)	講義
科目区分(Course classification)	専門教育科目 専門教育科目	単位数(Credits)	2
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	後期 木曜４限	担当形態（Instructor format)	オムニバス
実験実習費（円）(Experiment/training fee (yen))		履修者数上限（名）(Maximum number of students)	120

■授業の概要(Course outline)

この科目の目標は、文学部の学生がわきまえておくべき古典に対する教養を身につけることです。古典は、長い時間を経て確立した人類共通の遺産であり、国境やジャンルの枠を超えて受容されてきました。そのため文学や芸術など文化現象を理解するためには、それぞれの専門以外についても、ある程度の知識を得ておくことは重要です。文学部教員がそれぞれの専門における古典を紹介することで、受講者は世界と日本の古典に対する幅広い視野を持つことができます。

■到達目標(Course goals)

世界と日本の文学や芸術について広く目配りできるとともに、重要な古典を理解することができる。

■履修上の留意点(Important points)

なし

■学位授与方針（Diploma policy)

１．知識・理解

日本を含む世界の多様な文化を理解するとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。　◎

２．汎用的技能

世界の言語や文化の諸問題についての情報を適正に収集し、さまざまな研究理論を用いて分析し考察することができる。　○

３．態度・志向性

自らを律し、他者と協働して目標の実現のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。　○

■授業計画(Lesson plan)

1. 担当：楚輪松人 9/23ガイダンス：古典を学ぶということ
2. 担当：小室尚子 9/30キリスト教におけるクラシック：アウグスティヌスの『告白』
3. 担当：中川美和 10/7日本のクラシック（１）：「梁塵秘抄」
4. 担当：龍澤彩 10/14日本のクラシック（２）：『源氏物語』と源氏絵
5. 担当：桐原健真 10/28日本のクラシック（３）：河口慧海『西蔵旅行記』
6. 担当：朴珣英 11/4アメリカのクラシック：『緋文字』
7. 担当：浅井邦昭 11/11中国のクラシック：『論語』

8. 担当：浅井邦昭 11/18朝鮮半島のクラシック：『春香伝』
9. 担当：北原ルミ 11/25ヨーロッパ大陸のクラシック(1)：ギリシャ・ローマ神話
10. 担当：北原ルミ 12/2ヨーロッパ大陸のクラシック(2)：『レ・ミゼラブル』
11. 担当：鈴木久嗣 12/9ヨーロッパ大陸のクラシック(3)：『ファウスト』
12. 担当：楚輪松人 12/16イギリスのクラシック：ロアルド・ダール『マチルダはちいさな大天才』
13. 担当：浅井邦昭 12/23インドのクラシック：『ラーマーヤナ』
14. 担当：森本頼子 1/6音楽におけるクラシック（１）：ベートーヴェンの交響曲
15. 担当：森本頼子 1/13音楽におけるクラシック（２）：イタリア・オペラの系譜

■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)

授業前に作品の概要について学習しておく。

■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業後には、何らかの方法で実際に作品に触れてみる。フィードバックは授業中におこなう。

■テキスト・参考書(Textbooks/references)

必要に応じて資料を配付する

■評価方法(Evaluation method)

キリスト教のクラシック　7%

日本のクラシック　21%

アジアのクラシック　21%

ヨーロッパ大陸のクラシック　22%

イギリス・アメリカのクラシック　15%

音楽におけるクラシック　14%

各分野ごとに小レポート・課題・授業参加などで評価する。
宗教主事（2回目）5点＋日文（3～5回目）15点＋外コミ（6～11回）30点＋英文（12～13回）10点＋音芸（14～15回）10点の70点を100%に換算して成績を評価する。

■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)

メール、manaba掲示板を使って対応する。